

富士車受車パネルディスカッション 平成 20 年 県連盟ベンチャーフォーラム

日時：平成 20 年 9 月 7 日（日）9:45～16:00
場所：静岡県青少年会館

— スケジュール —

【第 1 部】

9:20 受付

9:45 開会セレモニー

開会のことば／国旗儀礼／歌「光の路」／
県連盟コミッショナー挨拶／閉会のことば

オリエンテーション

10:00 パネルディスカッション

司会：松村悠佑（静岡第 35 団）

パネラー：橋本道大（磐田第 7 団）

杉山誠一（静岡第 35 団）

小野寺勇洋（清水町第 1 団）

11:50 閉会セレモニー

開会のことば／県連盟コミッショナー挨拶／

歌「そなえよつねに」／国旗儀礼／閉会のことば

【第 2 部】

※第 2 部については、フォーラム対象者以外のスカウト及び指導者も傍聴者として参加ができます。（議長より意見を求められることがあります）

12:00 昼食

13:00 開会宣言

県連盟スカウトフォーラム

議長：松村悠佑、杉山誠一（静岡第 35 団）

対象：地区代表ベンチャースカウト

15:45 講評 県連盟コミッショナー

15:55 閉会宣言

16:00 終了

・自己紹介

・入ったきっかけ

・カブ隊から加入了して何を
聞いた事は

（小6から見て中学生はそこ）
（西尾あたりから見えて）

・加入了したきっかけは？

・なぜベンチャーも続いているか？

・加入了きっかけは面白さ。

・○かでやる連絡が奥（3）

・面白かった理由は？

面白？→ひびき

・富士をどうと思った理由は

・富士をやりたい→
やりたいから「やりたい」
やつて→

・富士でやった失敗を見て

・富士をやって思った感じ

（やって思ったわ）

・自覚ができた

・未だ呼ばれること
多かった。

・じんじんでる！

・ペニシル・アントバイオティクスを望むか？

・何かある？

・何かいいか、何がいいか
経済貢献サポート

・3年で
・3年で

木あなたにやつて
下へつたまへり

所属・氏名：	島津祥平	活動分野：	体力づくり
連絡先：		プロジェクト名：	サイクリング
受章番号：	No. 1446	特色・キーワード：	修理 自転車
目的	100kmを走行するために必要な自転車の点検や修理の方法を学び、無事に100kmを完走する。		
目標	1.走行予定地の情報を収集する。 2.100kmを完走する。 3.自転車の点検、修理ができるようになる。 4.走行時の危険を事前に話し合う		
期間・場所	全体の期間：2006年5月10日～2006年9月9日 計画の実施：2006年8月12日～2006年8月14日 場所：静岡県沼津市内から伊豆市内		
展開内容と結果	<p>自転車が故障することなく100km完走することができた。走行中に伊豆の独創の湯のいわれを調べることができた。自転車の修理が計画の実施の時にできなかつたので家に帰って一人で修理と点検の復習をした。</p> 		
目標達成度	満足できた      満足できなかつた		
(該当箇所の顔を塗ってください)			
今後の展開・感想	<p>このプロジェクトは夏に実施したため脱水症状にならないよう水分補給をこまめに取るように心掛けた。</p> <p>自分はマスクやリレーハンドルなどを持ておらず、しかも登り坂が多い道だったので100kmの完走は、無理だと思っていた。しかし、仲間のスカウトと隊長の励ましで100kmを完走することができた。100kmを完走した時の達成感は忘れられない。仲間のスカウトや隊長の大切さを学ぶことができたプロジェクトだった。</p>		

所属・氏名：

活動分野：

山本 知生

高度な野外活動

連絡先：

プロジェクト名：

温泉小僧

受章番号：

特色・キーワード：

No. 1498

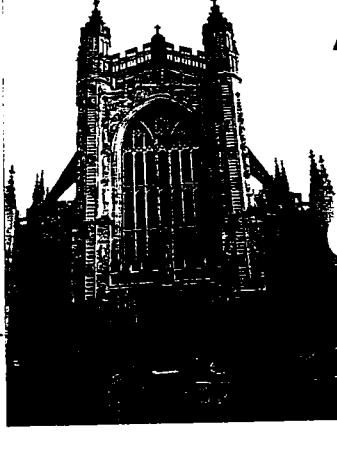
冬山登山

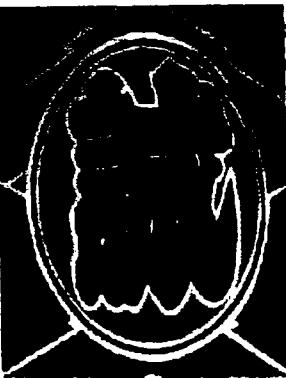
	目的	冬山の寒さに耐え、強い身体と精神力を試す。
	目標	① 冬山で2泊ある。 ② 日本一高所にある露天風呂に入る
	期間・場所	北八ヶ岳 しらびと小屋周辺 プロジェクト実施期間：平成18年10月29日～平成19年1月4日 登山実施期間：平成18年12月26日～平成18年12月27日
	展開内容と結果	26日、北八ヶ岳登山口に移動後登山開始。2時間半程で山小屋に到着。テントを張る。 夜は大雪。雪崩の音も聞こえるなかで、じっと寒さに耐える。朝起きると、30センチほどに雪が積もり、重みでテントがつぶれそうになっていた。   <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>← 1日目は雪もあまり積 もっておらず、楽しく 登ることができた。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>← 山小屋到着直後 の様子。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>← この二人用ドームテン トで寝た。 この後は寒さに耐える のに必死で、写真は 残ってません…</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>← 下山の様子。 起きると外は一 面白銀の世界だ った。</p> </div> </div> 翌27日、日本一高所にある本沢温泉を目指して上る予定だったが、仲間の体調が思わしくないため、下山。
目標達成度 (該当箇所の顔を塗ってください)	満足できた	     満足できなかった
今後の展開・感想	初めての冬山登山であったが、冬の厳しさを肌で感じた。目標を達成することはできなかったが、夏の登山では味わえない冬の山の美しさを感じることができた。大自然の中での人間の小ささを改めて感じた2日間であった。 次こそは秘湯・本沢温泉を目指しもう一度挑戦したいと思う。	

	所属・氏名 :	活動分野 :
	安田憲弘	奉仕活動
	連絡先 :	プロジェクト名 :
	受章番号 :	特色・キーワード :
	No. 1537	茶道・ボランティア

目的	茶道をまだ知らない人たちにも茶道を知ってもらいその楽しさを知ってもらう。		
目標	1、子供や老人など、なかなか茶道を体験する事が少ない人たちを対象とする。 2、手軽に出来るようにする。		
期間・場所	期間: 平成17年10月1日から平成19年2月15日 老人ホーム訪問: 平成17年11月6日 食育活動: 平成19年2月10日 場所 遠州の園 こどもの森		
展開内容と結果	老人ホームでは、お年寄りの行動を予想しきれず、お茶菓子として出した、お饅頭を剥離紙ごと食べてしまうというアクシデントがあり、普段のお茶会とは注意すべきポイントが違うのだという事に苦労しました。また、こどもの森では、普段は見ることの少ない茶道具の使い方や、お抹茶の取り扱いなど、何処まで、子供にやらせることができるか見極める事が大変でした。		
目標達成度 <small>(該当箇所の顔を塗ってください)</small>	満足できた 満足できなかった		
今後の展開・感想	<p>お年寄りや子供では対応が違つて当然であるという事を身にしみて感じました。</p> <p>お年寄りは、自分で点てるよりも点て出して味を楽しんでもらう方がいいように感じました。それに対して子供では、自分で点てて飲むという一連の体験が興味を引くという点で、適していると思いました。</p> <p>しかし、点て出してお茶会を開くためには、いくらかの人数で役割分担をしてやらなければならず大掛かりになってしまい、頻繁に行うのは難しいと思います。</p> <p>しかし、自分で点てる体験ならば、道具の準備だけで行う事ができるので、此方を中心に定期的に行っていきたいです。また、食育の方では、お茶菓子作りや茶杓などの道具の作成などもやってみたいと思います。</p>		

所属・氏名:	鳴海 あすか	活動分野:	国際文化				
連絡先:		プロジェクト名:	憧れの地・ヨーロッパに想いを馳せて				
受賞番号:	No. 1547	特色・キーワード:	海外 国際交流				
目的	複式簿記の始祖「ルカ・パチョーリ」の生誕の地サンセポルクロを訪ねて、複式簿記の歴史を認識するとともに、外国の芸術文化を体験することにより、国際的視野に立った識見及び自覚を高める						
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 簿記の歴史を知る 2. ヨーロッパの芸術文化を体験する。 3. ヨーロッパの学生に日本の文化を知ってもらう。 4. 少しでも多く、現地の人と直接会話をする。 5. ヨーロッパを通して日本を見つめる。 						
期間・場所	全体の期間: 平成18年7月1日(土)~平成19年2月28日(金) 旅行: 平成19年1月5日(金)~平成19年1月12日(金) 場所: フランス(ローマ)イタリア(サンセポルクロ, フirenツエ, ミラノ, パリ)						
展開内容と 結果	<p>複式簿記は、自然に猜疑心や物欲を抑制する力をもち、その因果関係のバランスによって記録されたものには、経済人として成長していくための歩むべき道が説かれていると言われていることが分かった。ルーブル美術館やノートルダム寺院など社会の教科書に出てくるような有名な芸術にも触れることが出来た。やはり生で見るとそのすごさに圧倒された。また現地の学生と交流し、日本の文化「茶道」を紹介した。お互い消極的になってしまい、なかなか会話をはずませることは出来なかつたが、写真を撮ってお互いに楽しめたと思う。</p> <p>欧洲の勉強環境は日本とそれほど変わりはなかつた。欧洲の人は日本人より、時間をゆったりと過ごしていく素敵だと思った。</p> <p>↑記念撮影 ↓</p>						
目標達成度 (該当箇所の額を塗ってください)	満足できた						満足できなかつた
今後の展開・感想	初めての海外研修は、移動時間(約13時間)がとても長く感じられた。昼夜逆転の生活で帰国した際、時差ボケがひどかった。 スケジュールは思ったよりも時間に余裕があり、ホテル近くのスーパーにいったりバールと呼ばれる立ち飲み喫茶店のようなところにも行けて、現地の生活を体験できたことがとてもよかつた。 ひとつ悔いが残ったのはやはり現地の学生との交流あまり会話を楽しめなかつたこと。 英語力を高めもっと積極的にならなければと実感した。 今後は、せっかく高校で経済を学び欧洲での研修も出来たのだから、大学でも引き続き経済について知識を深め、将来に役立てたいと思う。 そして、経済知識を使った少しでも海外にかかわった職種を目指したい。						

	所属・氏名： 河島 啓真	活動分野： 国際文化				
	連絡先：	プロジェクト名： イギリスと日本の町並みの比較				
受章番号： No. 1556	特色・キーワード： 海外					
目的	自分とは違う人達への理解を深め人間性を深める					
目標	イギリスと日本のライフスタイルの違いやどういった風に町並みに影響しているか調べる					
期間・場所	全体の期間：2006年9月上旬～2007年8月下旬 旅行：2006年11月8日～11月23日 場所：イギリス					
展開内容と 結果	イギリスのガイドブックなどを見て、建物見物を中心に旅行したいと決めて行った。 しかし帰国に思い出すともと奥まで見てくれば良かったなと反省した。					
  						
目標達成度 <small>(該当箇所の顔を塗ってください)</small>	満足できた	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	満足できなかった
今後の展開・感想	<p>日本とイギリスでは、ライフスタイルの違いから、建物や街並の造りが全然違っていた。日本もいいけれど、イギリスの街並はとてもきれいで感動した。</p> <p>イギリスの建物をもっと知りたくなったし、さらに法律や食生活についても調べた。</p>					



所属・氏名：

橋本脩大

活動分野：

文化活動

連絡先：

プロジェクト名：

PTW ~地鶏七田~

受章番号：

特色・キーワード：

No. 1557

鍋

目的	郷土料理(当地グルメ)について研究し、其中のひとつ地鶏を鍋料理を体験、所得、自由(磐田七田)の方法で振舞う					
目標	郷土料理・当地グルメについて研究する。 地鶏について研究する、大人数で対応できるレシピの作成の仕方を勉強する 地鶏を使った鍋料理を体験する。					
期間・場所	2007年4月～11月					
展開内容と結果	<p>ニーズの発生意 どこに行きたい おいかいでも食べたい 料理関係、活動記録(7月7日)</p> <p>↓ 大人数で作れる鍋について決定</p> <p>↓ 無事、鍋の模倣、団体振舞うとい ↓ 現地に向かう時間的、金銭的余裕やいく 取り寄せて3ヶ月。 ↓ 取寄せ、鍋を作り試食</p> <p>材料、分量、味を調査 その後、3～4人前の大鍋のロゴを作成 磐田七田風アレンジ鍋(通常、YES-TN) を作り、自由関係者の方に試食して、 团体内の人間に振舞えるかどうかを判断 17人で行なった</p> <p>結果... ↓承認 * YES-TN・構想が完成</p> <p>※ YES-TN Yuta Eri Saya たまごと春ねぎのバー Tori Nabe 鶏ハネ炒め</p>					
目標達成度 (該当箇所の顔を塗ってください)	満足できた					満足できなかった
今後の展開・感想	<p>プロジェクト立ち上げ当初は、いろいろな問題に乗り上げてしまつたが、 メンバー一人一人が自身的な課題研究のためで徐々に道へ向けて 進んで、今後はプロジェクトで一番面白がる。</p> <p>しかし、時間的余裕本放げた。 次回は1～2年かかるところが少し長い</p>					

<p>所属・氏名： 森野 大圭喜</p> <p>連絡先：</p> <p>会員登録番号： 1558</p>		<p>活動分野： 高度な野外活動</p> <p>プロジェクト名： ダッキオブンによる野外料理</p> <p>特色・キーワード： 野外料理</p>
目的	<p>より高度な野外料理の実践として、ダッキオブンを使いたく料理を試み、ダッキオブンに関する知識を深めることを通じて、一步進んだ野外料理の技術を習得し料理を他のスカウトに披露する</p>	
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ダッキオブンに関する知識を深める 2. 調理法を覚える 3. 誰かに食べてもらう 	
期間・場所	2004年9月～12月	
展開内容と 結果	<p>まずはダッキオブンの使い方を覚えるために、様々な資料を調べることにした。手入れの仕方や歴史、料理をするためには必要なレシピを調べ、そのうえで実際にダッキオブンを使ってみた。</p> <p>当時は活動記事自体に慣れなく写真や記録を取り忘れていたので資料が少ないので充実した活動ができたと思う。</p>	
目標達成度 <small>(該当箇所の顔を塗ってください)</small>	<p>満足できた</p>     	満足できなかった
今後の展開・感想	<p>活動の内容としては満足しているが、やはり記録が無いというのは、その結果を人に伝える際に必要な物だと感じたのでこれから先は記録をしきり取り効率のよい活動をしていきたい。</p>	

所属・氏名：

石戸 瞳美 (いのと・ともみ)

連絡先：

活動分野：

専門・得意分野の探求

受章番号：

No. 1559

プロジェクト名：

自分史～これからの私へステップ！

特色・キーワード：

園芸福祉社 (チルドレンガーデン)・ボーイスカウト

目的

今までの11年のスカウト活動を農業高校で学んだ園芸福祉社を用いて振り返り、将来の自分に必要なものを見つけると同時に、後輩スカウトに支援できることも探し、実行していく。

目標

1. 園芸福祉社・ボーイスカウトをそれぞれ整理し、類似点をまとめる。
2. 自分の今までの活動をまとめ、「1」と比較する。
3. 今までの資料から、後輩スカウトに必要なことを考えたプログラムをつくり、実行する。

期間・場所

全体の活動 2007年7月8日～10月3日

場所 自宅・慈恩・保育園

大仁図書食館

展開内容と
結果

- ・資料をまとめることに苦労した。
- ・プログラムの実行では、ビーバー隊のスカウトと、誰にでもできる「園芸福祉社」ということで「芝生小僧」をつくった。(写真・図)
- ・ビーバー隊の子ども達は集中力が少ないので、説明するのが莫然しかった。作業中は静かで、楽しそうだった。(聞くより、する方がいい)

園芸福祉社とは？

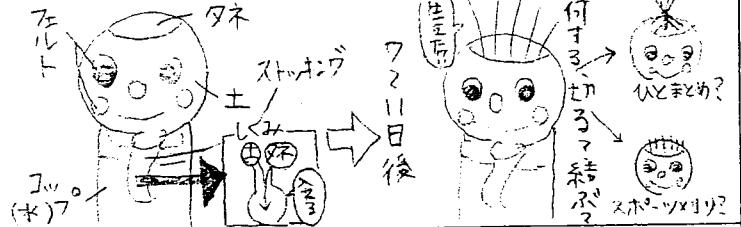
植物の栽培を通して、みんなで「幸福になろう」という考え方のこと。

今、話題のグリーンツーリズムや
食育、庭いじりもその1つです。

最近注目されています!!

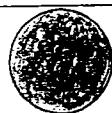
芝生小僧とは？

植物を遊びながら学ぶ
園芸おもちゃ。芝の種を入れた人形で、実際に栽培すると長毛の毛が生えてくる。切り離す



目標達成度

満足できた



満足できなかった

(該当箇所の顔を塗ってください)

今後の展開・感想

- ・このプロジェクトで、プログラムをつくることで今までのリーダーの方々の大変さがあり、感謝の気持ちでいっぱいになった。子ども達の笑顔をつくれて嬉しい。
- ・高校で学んだことの実践となり、活用できたという達成感がある。
- ・将来、今回のように「笑顔をつくること」でする仕事をしたいと強く思うようになった。(福祉施設で働きたい)
- ・これからも自分のできる範囲で後輩スカウトとコミュニケーションを取りたいと思う。

所属・氏名 :	柏葉 美羽子	活動分野 :	奉仕
連絡先 :		プロジェクト名 :	14N丁を楽しもう!!
受章番号 :	No. 1592	特色・キーワード :	コミュニケーション

目的	<ul style="list-style-type: none"> アワード(奉仕)の取得 石川県の自然と触れ合う 参加ロスカウトとの交流 台湾スカウトとの文化的交流 <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">これらを通して、スカウトとして、また、自らを成長させる活動にすること。</p>
目標	台湾スカウトや参加ロ隊スカウトと交流しながら、14N丁の隊付として、スカウトたちが楽しめるように、奉仕活動をしていくこと。
期間・場所	H18年8月2日(水)～H18年8月8日(火) 石川県珠洲市リフレッシュ村
展開内容と 結果	<p>同じ隊に所属し、共に活動をしてきた上級生と他の2名の隊付の4人で、担当する班を決めて、それぞれのプログラムをスカウトたちと過ごしました。私の担当した班には、私の他に、台湾スカウト2人も行動を共にしました。最初は、なかなかコミュニケーションを取ることにも苦労をしましたが、スカウトたちも紙とペンを持ち、漢字を書いて一生懸命コミュニケーションを取りうしてくれていたし、どんどん文化や言葉の壁を越えて仲良くなれたことがとても嬉しかったです。一週間に、あ、という間に過ぎ去り、大変だったこともありましたが、担当したスカウトたちに「写真撮ろう!!」とか、「ありがとう。」「楽しかった。」と言ってもらえた時に、彼らの思い出作りの助けになれたかなと思います。今も、台湾のスカウトとは手紙のやりとりをしています。彼らと過ごせたことに感謝しています。</p>
目標達成度	満足できた      満足できなかった
(該当箇所の顔を塗ってください)	
今後の展開・感想	13N丁の時、私がスカウトとして行って、とても楽しい思い出が出来ました。なので、今回は、後輩のスカウトにも、そんな思い出が作れたらと思い、活動してきました。そのお手伝いをすることが出来たことが、とても私にとっては達成感になりました。自分も、スカウトも楽しめたことは本当によかったです。

所属・氏名： 鈴木 駿		活動分野： 国際文化
連絡先：	プロジェクト名： 21WSJの夢	
受章番号： No. 1593	特色・キーワード： 世界スカウトジャンボリー	
目的	21WSJで経験した素晴らしい感動・世界のスカウトとの交流を広く紹介し、PRする。	
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 21WSJ事前調査 2. 21WSJ(イギリス)に参加 3. ホームページを作成し、報告・紹介する 	
期間・場所	全体の期間：平成19年3月～11月 21WSJ：平成19年7月25日～8月12日 場所：イギリス	
展開内容と結果	<p>世界スカウトジャンボリーは最高！ この感動のためにスカウト活動を続けてきたといつも過言ではない。</p>  <p>とにかく世界のスカウトはのりがいい</p> <p>ここは世界一場所だった</p> <p>平知左</p>	
目標達成度 (該当箇所の顔を塗ってください)	<input checked="" type="radio"/> 満足できた <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> 満足できなかつた	
今後の展開・感想	21WSJでの感動を次回の22WSJにつなげ、後輩の感動のサポートをしたい。	

	所属・氏名： 小野寺勇洋	活動分野： 文化活動
	連絡先：（携帯）	プロジェクト名： お茶伝
	受章番号： No. 1611	特色・キーワード： 茶道 日本文化

目的	茶道を通して、日本の美を考え直し、日本人としての自覚を持つ。		
目標	礼儀作法を身に付ける。		
期間・場所	平成18年11月18日 スカウトハウス 平成18年12月15日 翠学苑 平成19年1月14日～3月31日 スカウトハウス		
展開内容と 結果	茶道を通して、茶道には茶道の作法があり、その奥深さと、日本文化の奥深さを知ることができた。お茶室への体験、茶道章の取得、お茶会の実施などを通して、『礼に始まり、礼に終わる』という意義のある言葉を感じることができたと思う。今まで不足していた礼儀作法を身につけることに挑戦し、多少ながらも習得できただように思う。		
標達成度 (該当箇所の顔を塗ってください)	満足できた      満足出来なかった		
今後の展開・感想	身に付けた礼儀作法や茶道を体験したことは良い経験になったと思う。課題としては、やはり、計画の甘さと、技量不足であると思う。団や各隊との調整が必要だと痛感した。また場所や悪天候などの場合の計画案例など、きちんとやらなくてはならないと思った。何事も重複練習しなければならないと身に付かないので茶道も何度も練習していきたいと思う。		

所属・氏名：

小野寺勇洋

活動分野：

社会 地球 環境

連絡先：（携帯）

プロジェクト名：

遺せ！富士の山

受章番号：

特色・キーワード：

No. 1611

富士山 環境 遺産

目的

- 富士登山を実施し、精神的な耐力と、身体的な体力向上を目指す。
- 富士登山において、富士山の文化遺産としての意義を調査する。

目標

耐久力を鍛える。

期間・場所

平成19年6月23日～平成19年7月14日 スカウトハウス

平成19年8月25日 富士山

展開内容と
結果

初の富士登山をしてみて、体力面や装備面などでいろいろな問題があったが、山頂での景色や星空など滅多に見られない絶景を経験できて良かったと思えるプロジェクトであったと思う。内容としては実地調査が主体だったけれども、富士登山に挑戦する、富士山に登るだけでも大変だということが結果的に分かった。



目標達成度

満足できた



満足できなかった

(該当箇所の顔を塗ってください)

今後の展開・感想

富士登山で、プロジェクトをやり遂げたこと、様々な普段見ることができない景色を見ることができたことができて良かったと思う。これから課題としてはまず第一に体力をつけなければならないと思った。また荷物・装備を検討して軽量化することや、酸素ボンベなど、絶対的に必要な装備の検討が必要だと思った。

<p>所属・氏名 :</p> <p>小野寺勇洋</p> <p>連絡先 : (携帯)</p> <p>受章番号 :</p> <p>No. 1611</p>		<p>活動分野 :</p> <p>奉仕活動</p> <p>プロジェクト名 :</p> <p>器姿回生</p> <p>特色・キーワード :</p> <p>アクリル板 奉仕</p>
目的	壊れたアクリル箱を修理し、箱の中に自作の案内地図と町のパンフレットを入れ観光客が迷わないように手助けをする	
目標	アクリル加工を行うことによって、物作りへのチャレンジ精神を養う。	
期間・場所	平成19年10月27日～11月17日 スカウトハウス	
展開内容と 結果	<p>今回のプロジェクトの選択は平出隊長の指示によるものであったが、アクリル加工という作業ができるで充実できていたと思う。結果的にやってみてよかったです。</p> 	
目標達成度 <small>(該当箇所の顔を塗ってください)</small>	<p>満足できた</p>      <p>満足できなかつ</p>	
今後の展開・感想	<p>課題としては、プロジェクトの題材を自分たちで見つけられなかったこと。アクリル加工について、事前の調査や事前の準備が足りなかつたことがあったと思う。もう少し時間を掛けて準備しても良かったと思う。</p>	

所属・氏名：

小野寺勇洋

連絡先：（携帯）

活動分野：

専門分野の探求

受章番号：

No. 1611

プロジェクト名：

鋳鉄への挑戦

特色・キーワード：

ダッヂオーブン パン**目的**

ダッヂオーブンを使って美味しい料理を作る。

目標

料理を作ることで、バリエーションを増やす。

期間・場所

平成18年12月9日～平成20年1月13日 スカウトハウス

**展開内容と
結果**

今までダッヂオーブンをするにあたり、パンが膨らまないという事が多々あつたとの事で多少の不安はあったが、イースト菌が古かったということなので、新しいイースト菌で作った。その結果、見事に膨らんだ。また他のスープやローストチキンも上手くできた。多くの人の協力のおかげで完成することができた。結果としては人手が足りなく時間も足りなかった。

**目標達成度**

満足できた

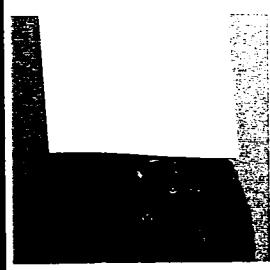
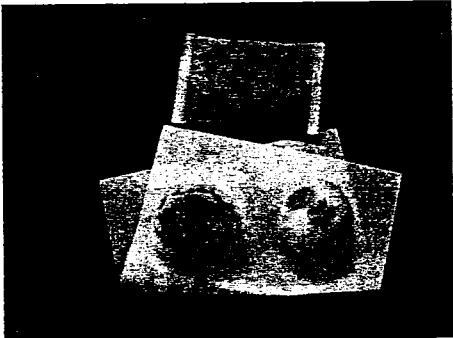


満足できなかつた

(該当箇所の顔を塗ってください)

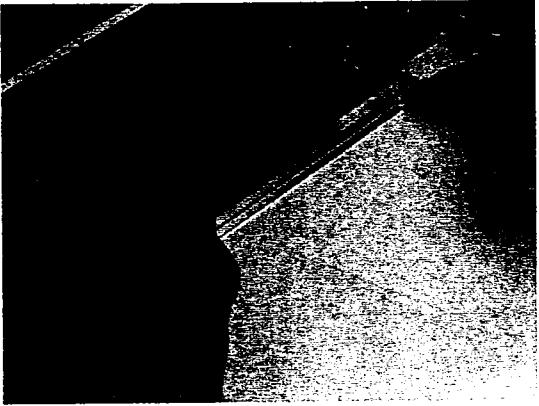
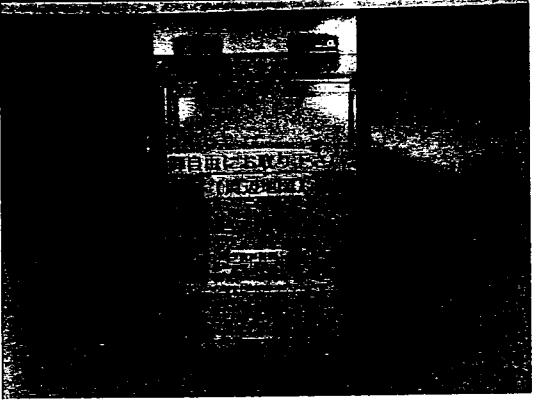
今後の展開・感想

ダッヂオーブンやってみて、パンを上手く作れたことが嬉しかった。しかしパンの時間が掛かりすぎてしまうことから前日に下準備をする必要がある。初めてのダッヂオーブンであったがスープなども美味しく作ることができた。

		<p>所属・氏名： 矢ノ下 彰一</p> <p>連絡先：（携帯） （記入欄）</p> <p>受章番号： No. 1612</p>	<p>活動分野： 文化活動</p> <p>プロジェクト名： お茶伝</p> <p>特色・キーワード： 茶道 日本文化</p>
目的	茶道を通じて、日本の美を考え直し日本人としての自覚を持つ		
目標	日本人としての自覚を考え直す		
期間・場所	平成18年11月18日 スカウトハウス 平成18年12月15日 翠学苑 平成19年1月14日～3月31日 スカウトハウス		
展開内容と結果	<p>期間は長期間に渡ってしまったが、基本的な動作や本物のお茶室の見学と体験、お茶の実施、そして技能章の取得と 内容としては濃いプロジェクトだったと思う</p> <p>自分自身の技量はまだまだ未熟だけ森石先輩の言われるよう何回も繰り返して行うことが非常に重要だと実感した</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
標準成度 <small>(該当箇所の顔を塗ってください)</small>	満足できた      満足出来なかった		
今後の展開・感想	<p>一言で言うなら、やって良かったと思う。</p> <p>今まで先輩達が行ってきた事について写真や話などでしか知らなかつたものを行うことによって学ぶことが出来たと思う。非常にいい経験になった。</p> <p>技量については、やはり風間副長が毎週稽古を行っているように僕達も定期的に稽古をしていきたいと思う。</p>		

所属・氏名 :	矢ノ下 彰一	活動分野 :	社会地球環境
連絡先 : (携帯)		プロジェクト名 :	遺せ！富士の山
受章番号 :	No. 1612	特色・キーワード :	富士山 環境 遺産

目的	(1) 富士登山において富士山の文化遺産としての意義を調査する (2) 富士登山中に富士山の環境問題について現地等踏査する
目標	富士山についての知識を深めたいと思った。
期間・場所	平成19年6月23日～平成19年7月14日 スカウトハウス 平成19年8月25日 富士山
展開内容と 結果	今回のプロジェクトは体力面、装備などのさまざまな、問題があった。経験としてみるとやって良かったと思うがプロジェクト内容の実地踏査はしっかりと行う事が出来なかつた。 企画段階では発想が良かったと思うが、計画段階ではローバー隊の森田先輩にすっかりお世話になってしまい自分達だけでは計画書を作成する事は出来なかつた。これは反省する点だつた。
目標達成度 (該当箇所の顔を塗ってください)	満足できた 満足できなかつた
今後の展開・感想	山岳信仰で富士山を文化遺産に登録するのは無理があると感じた。山岳信仰というよりは観光登山のような人が多いと思った。 富士山の登山道にはゴミというゴミは見当たらなかつたが5合目より下はまだ粗大ゴミなどがあるので次はそういうゴミについても調べたいと思った。 苦労はしたし、成功とも言い難いプロジェクトだったがいい経験だつたと思う。

<p>所属・氏名： 矢ノ下 彰一</p> <p>連絡先：(携帯) :</p> <p>受章番号： No. 1612</p>		<p>活動分野： 奉仕活動</p> <p>プロジェクト名： 器姿回生</p> <p>特色・キーワード： アクリル板 奉仕</p>
目的	壊れたアクリル箱を修理し、箱の中に自作の案内地図と町のパンフレットを入れ観光客が迷わないように手助けをする	
目標	壊された案内箱を修理し観光客の方々に清水町に好印象を与える	
期間・場所	平成19年10月27日～11月17日 スカウトハウス	
展開内容と 結果	<p>今回のプロジェクトの選択は平出隊長の指示によるものだった、やってみるとてもやりがいがありやってみてよかったです。</p> <p>地域の新聞に載ったので奉仕活動としては成功したと思う。</p>  	
目標達成度 (該当箇所の顔を塗ってください)	<p>満足できた      満足できなかつた</p>	
今後の展開・感想	課題としては、プロジェクトの題材と自分達で見つけられなかったこと。また、アクリル加工について事前調査や事前準備が足りなかった、もう少し時間をかけて準備をしても良かったと思う。しかし、奉仕活動としては成功した。	

<p>所属・氏名： 矢ノ下 彰一</p> <p>連絡先：(携帯)</p> <p>受章番号： No. 1612</p>		<p>活動分野： 専門分野の探求</p> <p>プロジェクト名： 鋳鉄への挑戦</p> <p>特色・キーワード： ダッジオーブン 鋳鉄</p>
ダッジオーブンの知識を得て料理を作ろうと思った。		
目 標	ダッジオーブンを使って美味しい料理を作り、ダッジオーブンを知る	
期間・場所	平成19年1月3日～平成20年1月3日 スカウトハウス	
展開内容と 結 果	<p>ダッジオーブンについての知識、取り扱い、種類などの事を知らずに行おうとしたこと、期間がとても長かったことなどが反省点だった。</p> <p>指導者に指示されながら動いていたことも反省点だった。</p> <p>料理は意外と上手に作ることができた。</p> 	
目標達成度 (該当箇所の顔を塗ってください)	<p>満足できた</p> <p>○ ○</p> <p>○ ○</p> <p>○ ○</p> <p>○ ○</p>	<p>満足できなかつ</p> <p>○ ○</p> <p>○ ○</p> <p>○ ○</p> <p>○ ○</p>
今後の展開・感想	最初よりも知識は得ることができた。作った料理は隊長方に好評だった。これからもダッジオーブンを使って料理などをして知識を深めたいと思う	



挑戦分野： 地球環境

テーマ： 微小生物の世界 びく石ビオトープ散策

氏名： 谷澤友昭

富士授与 No. 1426

所属：

特色・キーワード：微小水生生物・ビオトープ・ろ過装置

ホームページ掲載希望： 可

1. 目的

環境破壊で、微小水生生物が減少しているいま、それらの保護に注目されているビオトープを実際に見学することにより環境についての問題点を探り、環境になにが大切な知る。

2. 内容

1. ビオトープの調査（一泊キャンプ）
2. 炊事章「ろ過装置を作り実験する」

3. 期間・場所

藤枝市 市民の森「びく石」

4月29日(祝) 隊集会・簡易ろ過装置の作成 (Teepee)

5月 7日(土)～8日(日) キャンプ実施

4. メンバー

ベンチャースカウト 4名

5. 予算

キャンプ自己負担一人 1,000 円

6. 実際の展開・結果

【ビオトープ事前学習】

「昆虫のすみか」「池のすみか」の両方で生き物の姿を見ることができた。僕たちが行った時期が早かったのか、生き物の種類も、5~6種類ぐらいしか見ることができなかつた。気温が上がる7~8月にはもっとたくさんの生き物を見ることが出来ると思った。最近は色々な場所で開発が進んでいて、大井川町でさえ、以前と比べて、昆虫や水生生物を見かけることが少なくなってきた。ビオトープは、食物連鎖の大重要な部分であり、ここに集まる生物を又別の生物が捕食したり、産卵や成育の場となっていると思う。このようなビオトープを町の中に少しでも作ることが出来れば、今よりもっといい環境が出来ていると思う。今回のキャンプでビオトープを見学することが出来とてもよい経験をすることが出来た

【簡易ろ過装置】

最初は、濁りが全部は取れないんだろうと思っていたが、ほとんど取れていて驚いた
簡単な構造のわりには、けっこうきれいな水が出てくるとは思ってもみなかつた

7. 感想・プロジェクトを通じて気がついたこと・今後の意欲

今回のプロジェクトは野外料理・簡易ろ過装置の製作・ビオトープ調査の3つのことを行なったがどれもうまくいった。チーム員との協力で目標は達成されたと思う。

夜に寝るときに防寒マットがあればよかったです、次回は快適に睡眠が取れるよう個人装備として工夫をしたい。

プロジェクト全体としてはうまくいったと思う。大井川町に無い本格的なビオトープの調査をしてみて、ここにビオトープには、たくさんの微生物がいていた。この調査を通じて、自然生態系の大切さがわかつた。よく見ればどこにもある小生物を守ることから、環境問題を考え生きたいと思います。



挑戦分野：高度な野外活動

テーマ：テーマ肉を食べる

氏名：森崎寛一

富士授与 No. 1445

所属：

特色・キーワード：移動キャンプ・肉料理

ホームページ掲載希望：可

1. 目的

移動キャンプに必要最低限の装備・食料をしらべ、自転車を交通手段とした、一泊キャンプを実施することにより、移動キャンプの意義を探求する。

2. 内容

1. 一泊キャンプに必要最低限の装備を研究し一泊移動キャンプを実施する
2. 自転車の整備・調整及び安全な移動を検討する
3. 移動キャンプの献立を作り、食用肉の種類を調べ、味を確かめる

3. 期間・場所

平成 16 年 7 月 4 日～ 平成 16 年 10 月 3 日

実施 平成 16 年 9 月 18 日(土曜日)～19 日(日曜日)

4. メンバー

ベンチャースカウト 3名

5. 予算

一人 1,000 円

6. 実際の展開・結果

装備については一泊キャンプに必要最少限の装備を研究したがタープ・テーブル・フライパンは隊長に持ってきてもらった。かえりも食器・コシロ・持ってきてもらったものを車で運んでもらった。自転車に、装備の載せ方を工夫すれば乗せられたと思った。食用肉の種類を調べ、味を確かめた。

肉の種類	感想
牛カルビ	歯ごたえがあり、よくかむと甘かった
牛モモ肉	肉がしっかりしていたけど、食べやすかった
牛ロース	豚のロースト比べ、あつさりしていた
豚ロース	牛と違った。豚独特の味がした
豚三枚肉	脂がすごかった、他の肉と比べて脂のにおいがした
豚モモ肉	豚肉の中でも一番あつさりしていて、食べやすかった

自転車の安全な移動するために、自転車の整備・調整及び安全な移動にため、前日にタイヤの空気を調整・ブレーキなどのチェックをした交通安全について、キャンプ場へ行く途中雨が降り。荷物が多く積んで山道を走ったので危険だった。次回のキャンプは、荷物を積んでも安定するような積みかた研究したい。

7. 感想・プロジェクトを通じて気がついたこと・今後の意欲

だいたい予定どおりできた。米を忘れた人が2人ほどいた。個人装備は、忘れずに持つてくるようにしたい。自転車での移動中、急カーブや坂道で危険なことがあったので、もっと注意しなければいけないと思った。装備が自転車から落ちそうになった事もあり、事前に上手く装備を積めるように研究をすればよかったです。美味しい焼肉が食べられてよかったです。行きの時、急に雨が降った。しかも長い上り坂だったので大変だった。撤収の時も雨が降ったがその日のうちに装備の片付けができた。3人で作業を分担して早くできた。次回はもっと素早く、のんびりキャンプをしたい。

		所属・氏名： 伊藤慶彦	活動分野： 体力づくり
連絡先：		プロジェクト名： サイクリング	
受章番号： No. 1515		特色・キーワード： サイクリング、自転車、修理	
目的	日常よく使う自転車の修理、点検を行えるようにする。 100kmの長距離サイクリングを行う		
目標	交通規則を学ぶ 自転車を修理する技術を身につける		
期間・場所	全体期間：2006年5月10日～2006年9月9日 計画の実施：2006年6月12日～2006年8月14日 場所：静岡県沼津市内から伊豆市内		
展開内容と 結果	100kmサイクリングの前に自転車の修理と点検の 方法を学んだ。 自転車が故障することなく100kmを完走することができた。		
目標達成度 <small>(該当箇所の顔を塗ってください)</small>	<input checked="" type="radio"/> 満足できた <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> 満足できなかった		
今後の展開・感想	<p>100kmサイクリングを今までやったことがなかったので最初は成功できるか不安だったが、走り終わってみると大変だったけど成功したという達成感がなんともいえなかた。</p>		